

## 【12/2 P T A 講演会資料】

表面でご紹介した、大久保様のご講演資料です。保護者の皆様には、配付いたしましたが、ぜひ、地域の皆様にもご覧いただきたく、学校だよりに掲載いたしました。

令和3年度加茂市立石川小学校 PTA 講演会

### 子どもがゲームやネットとうまく付き合っていくために ～ゲームに係る家庭でのルールについて考える～

令和3年12月2日

一般財団法人インターネット協会 大久保 真紀

はじめに

- 子どもに端末を持たせる（使わせる）責任は保護者にある
  - 子どものゲーム、ネット利用に対するリスクを正しく怖がる
  - 子どもの可能性を広げるも道具として活用する視点

＜子どもにうまく付き合っていて欲しい 願いを行動にしているか＞

- 子どもに端末を持たせる時、最初に伝えたいことは何か？

- 子どもは端末で何をしたいのか  
目的
- そのためにはどんな端末がいい →  
※例えばスマートフォンである必要はあるか
- 保護者は子どもにどのように使わせたいのか

- 小中学校でのトラブル：暴言や誹謗中傷、課金、出会いのきっかけ、長時間利用
- 子どものインターネット利用に関する保護者の取組
  - ◇ 端末の管理をしている 小学生：95.2% 中学生：90.9%  
→子どもの利用を把握している、機能制限を使っているの回答は少ない
- みんなが持ってる、みんながやってるの聲に押され安易に端末を与えていないか

- 青少年インターネット環境整備法 フィルタリングの活用
- ペアレントコントロールで、時間、課金、機能制限、年齢制限を設定できる
- お子様の年齢や能力にあった環境を保護者がつくる
- 無制限な環境=刺激が強く魅力的なのは当然、楽しくてやめられなくなる
- 小さい端末はいつでもどこでもが可能になる 長時間利用に繋がらないか
- 横浜市調査：ゲーム依存傾向にある児童生徒8.9% ネット依存傾向9.4%
- ゲームや動画が悪いわけではない 何が問題なのか

- 依存が心配な場合に 久里浜医療センター ネット依存スクリーニングテスト  
<https://kurihama.hosp.go.jp/hospital/screening/iat.html>
- **メディアの時間が長いと就寝時刻が遅くなり睡眠不足に繋がる**
  - ◇ 就寝時間が早いと「学校が楽しいと感じている」子どもの割合が高い
  - ◇ 成長している子どもにとって十分な睡眠が必要
  - ◇ 朝ご飯を毎日とると学力や体力が高い傾向に、学校でやる気や集中力up!
  - ◇ ぼーっとする時間も大切 何か考えたり、アイデアが浮かんだり、、、
- 青少年インターネット環境整備法 子どもと話し合い利用ルールを決め見守る
- 充実した学校生活を送るための規則正しい生活 = ネットの適切な利用不可欠  
 <ルール作りのアドバイス>

#大人の心配事を書き出す ☆その対処法を子どもが考えて書く →話し合いルールに

#  
 ☆  
 →  
 #  
 ☆  
 →

**ルールを作ることが目的ではない、大人が守れるような環境づくりを！**

<参考になるルール例> 出典 合同出版 吉川徹著 ゲームネットの世界から離れられない子どもたち

- ◇ テレビやデジタル機器の利用は1時間やったら1時間休む
- ◇ タイマーを自分でセットする
  - ✓ タイマーをかけずにやったら即中止、次回の権利も失う
  - ✓ 開始時間をメモに書いて冷蔵庫に貼る、メモはペンで記入
- ◇ 利用可能時間は7時から20時まで 休日は5回まで
- ◇ 食事や家族の行動は常に優先される
- ◇ 高校生までは部屋に持ち込まない
- **情報社会で生きていく子どもに必要なのは「この時はやらない、自制力」**
- **ゲームや動画以外に「も」楽しいこと、やりがいのあることは**  
**世の中にたくさんあることを子どもが実感していることが大切**  
 →様々な体験をさせる、熱中したり感動したり夢中になれることはあるか
- インターネットやゲームに詳しくなくても日常生活でできることはある
- ゲームや動画を家族一緒に楽しみコミュニケーションのきっかけに
- **大人のゲームネット利用は問題ないか 子どもは大人を見て育ちます**

**みんな悩んでいます、問題を共有しこの地区でできることから一歩前へ！**

ご静聴ありがとうございました